

年齢	アイデアのタイトル	アイデアの内容
60代	生ごみの水分段階抜き作業	生ごみを天日干し後、大中小のポリ缶で水分を抜きながら順次移し替えていき、殺虫剤を吹いて蓋をして保管する。乾燥したら燃やせるごみに入れて出す。
60代	廃プラスチック汚染対策	①生分解性プラスチック（土に還元されるもの）で容器包装を作る。 ②プラスチックを化学的な方法を用いて、新品の素材へ再合成する。
20代	家庭用生ごみ処理機普及に伴う家庭ごみ排出量低減	生ごみ処理機の購入補助金制度の新設により生ごみ処理機を普及させる。ごみが残らないハイブリッド型タイプの補助率を高く設定したり、補助申請者にごみ袋が無料になるカードを発行するなど普及のために工夫をする。
20代	レジ袋有料化の適用範囲拡大	ドラッグストアやコンビニエンスストア等のレジ袋を有料化することによりごみ減量を図る
30代	市道街路樹の常葉樹化	市道に植樹されている落葉樹（主にイチョウ）を常葉樹に植え替える。落ち葉による歩行者のスリップ減少、市で配布している竹帚等の原材料費や清掃委託費の削減、美観のUP等の効果が見込まれる。
70代	自治会清掃で出るごみ（草・木）の減量化	自治会清掃で出た草木をすぐに袋詰めして捨てるのではなく、空き地で乾燥させてから捨てる。そうすれば、水分が抜け、軽くなり処理しやすくなる。
60代	生ごみの堆肥化	我が家ではコンポスターを使用し、生ごみはすべて堆肥化して畑にもどしている。生ごみが完全に堆肥化するのに2～3年かかり大変な作業である。これは教育の場で、生徒たちが自分たちが食べ残したものを堆肥化して、学校の畑で作物を育てるということを環境教育の一環として取り組んでいくべき。
50代	スーパーのトレイを使わない、持ち帰らない、減らす生活スタイルの確立	スーパーでトレイにパックされた食品を買ったときに、トレイを外して、食品をビニール袋に移し替えて持ち帰ることにより、トレイのごみの量を減らす。
50代	生ごみ処理機と小型焼却炉の普及による燃やせるごみの低減案	①生ごみ処理機の購入費補助制度を新設する。世帯人数が多い世帯に優先的に補助するなど工夫する。②小型焼却炉の普及による燃やせるごみの低減させる。
60代	チラシ削減で、森を守ろう！	行政、その他団体から送られてくるチラシを最低限の枚数に減らす、足らなくなったら必要枚数だけコピーをとって補充する。
60代	あなたは要らない！でも要る人いるかも！？	自宅の不用品、食料品をふれあいセンターに持ち寄り引換券をもらう。月1回交換日を設け、引換券1枚につき1つの商品と交換する。
70代	水切りに給湯ボイラー排熱を使って乾燥生ごみ減量に挑戦	給湯ボイラーの排熱口の熱を利用して、生ごみを乾燥させる。
70代	3切（水切り、使い切り、食べ切り）で生ごみ0に挑戦	1 生ごみを土に戻して分解させ生ごみ0を達成（水切り） 2 野菜の切りくずを使ったエコクッキング（使い切り） 3 ミカン、リンゴ、梨、柿の皮はウールたわしでよく洗い皮ごと食べる（食べ切り）
70代	食育を通じて、台所ごみの脱水による水分減量を32g/日/人を実現する	家庭用の遠心脱水機により、生ごみの脱水を行い水分量を減らす。「かみうべまちのえき」が主催するイベントにおいて、遠心脱水装置を20～30個購入して、参加者に配布し、各家庭で脱水実績を記録して、優勝者を表彰する。

ごみ減量アイデアコンテスト 応募アイデア

年齢	アイデアのタイトル	アイデアの内容
50代	エコ写真で見える化	スマートフォンで冷蔵庫の中の写真を撮り在庫管理を行う。また、家庭内のその他の品物も同等の管理を行い家族で写真共有を行う。
40代	冷蔵庫内リストの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷蔵庫内の消費期限リスト／量の作成</li> <li>・毎朝の状態確認</li> <li>・期限の早いものを前に置く</li> </ul>
50代	食べ残し残飯の削減	食べ残しは肥料にしたり、ペットの餌にします。
40代	食材を全部使い切る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使わない野菜や皮をミキサーにかけて、飲みやすい味にしてジュースにする</li> <li>・人参や大根の皮は、きんぴらごぼうにする。レタスやキャベツの固そうな部分や傷みかけのものは、しっかり茹でて温野菜にして食べる。</li> <li>・生ごみは、コンポストに入れて、堆肥にする。</li> </ul>
40代	濡らさない生ごみ入れ	濡らさない生ごみ入れ（広告を折った紙箱、古封筒またはビニール袋）を用意している。三角コーナーに入れると濡れていなかった生ごみも濡れてしまう。濡らさない生ごみ入れを用意するとそれ以上は濡れない。
70代	みんなでケイソク！生ごみゼロプロジェクト	私の自治会でやっているホームパーティー形式の座談会の取り組みを全市に広げる。段ボールコンポストの定期的な情報交換の場や、ごみ減量・環境問題への意見交換の場となっており、地域コミュニティ活動の活性化につながっています。
40代	資源ごみ収集システムの見直し&生ごみ循環システムの構築	「再生資源集団回収奨励金」制度を廃止する。代わりに資源ごみの収集を自治会が行い、収集量に応じて交付金を交付するシステムを作る。また燃やせるごみの量削減のために、生ごみ分別・循環システムを構築したい。生ごみ専用ごみ袋を新設し、生ごみ専用回収車が回収。民間リサイクル業者で家畜の飼料に処理する。
30代	野菜の皮でもう一品 ごみが減っておかずが増える「野菜を丸ごと食卓へ」	野菜の皮を食材として活用する方法を周知することにより、生ごみの量を削減する。どんな野菜の皮にどんな栄養があるか知識を伝え、レシピを募集し提案することで、生ごみが減りおかずが増える。知恵をもっているシルバー世代や、農家やJA等からレシピを集め市民に試食してもらったりイベントを開催したり小中学校の調理実習で体験してもらう。
50代	ワクワクアイデア栄養まるごとクッキング	旬の美味しい食べものは無駄なく使い切りたい。普段捨ててしまいそうな野菜の皮、ヘタの部分、種、ヒゲ根も可食できるよう調理を工夫する。
70代	生ごみの簡単水切りによるごみ減量化	市販の三角コーナーやプラ容器を使って水切り器具を自作して、生ごみの水切りを徹底する。
団体等	ごみ減量作戦「プロジェクトG（ごみ・グループ）」市民の多くの参加を得て、普通ごみの減量化を行う。	複数のごみステーション単位（または校区単位）でプロジェクトに参加表明してもらい、ごみ減量に取り組んでもらう。取組前と取組後1年の間、ごみの重量を計測し、もっとも減量化したグループに報奨金を進呈する。
団体等	一般家庭ごみは週2回まで！！	週3回の燃やせるごみの月曜日の収集量が他の曜日比べて突出している。水曜日、金曜日に収集日があるので出せるという安心感から段ボールコンポストが普及しない一要因と思われる。この際、水曜日の収集を廃止することにより、収集経費や人件費の縮減を図る。
団体等	芯皮まで食べれて、家計と環境に優しく、体に良い絶品レシピ！	野菜類等の芯や皮・葉等まるまる一個を利用した料理レシピのリーフレットを作成し全戸配布して家庭からの生ごみの排出抑制を図る。
団体	古着・古布回収でごみ減量と地域活性化！	現在の市の取り組みで古着・古布の回収を実施しているが周知が行き届いていない。校区コミュニティ推進協議会で広く周知し、リユースできるものは直接販売し、できないものは校区コミュニティ推進協議会と処理業者が直接契約することにより、校区の活動資金に充てる。
団体等	ごみの減量を土づくりと、地域の絆づくりにつなげる。	さまざまな方法で生ごみを土に返す。ごみを減らし、良い土作りをし、おいしい野菜や夏みかん、梅などを栽培し、収穫したものを地域でうまく活用する体制づくりをすれば、まさに一石三鳥の効果が期待できる。

ごみ減量アイデアコンテスト 応募アイデア

年齢	アイデアのタイトル	アイデアの内容
団体等	ごみ処分費用の有償化	1 ごみ袋の価格を（袋の原価+ごみ処分費用）に値上げする 2 ごみ収集日を週2回に減らす。 3 ごみ袋に、①排出量（実績と減量目標）②処分に要する費用、及びその変化を印刷する 4 ごみ減量アプリの開発
50代	見える化で実践！わが家のごみ減量	燃えるごみを出す際、計量して一ヶ月毎にグラフに記入する。 その間、ごみ減量の為に工夫して実施した対策も記入する。 このグラフは家族全員が見ることが出来る場所に掲示して、ごみ減量の意識を高める。
10代未満	ごみをへらそう。	スーパーで売れ残った弁当を捨てる時にトレイも一緒に捨てられるのもったいないので最初から作らなかつたらいいと思います。トレイもリサイクルできる素材にすればいいと思います。
60代	蒲鉾板の再利用	蒲鉾板2枚で拍子木として応援グッズとして再利用する。
60代	木の絵馬を紙にする	神社などで使われている木製の絵馬を紙製のものにする。
60代	桃色レンガの再利用	桃色レンガの塀を作り変える家から捨てずにいただく。それを保管してときわ公園などで花壇や敷石として再利用
60代	ごみ箱二段活用	段ボールの蓋を下に折ってごみ袋（大）を掛ける。いっぱいになったら蓋を立てる。これでいっぱいになったら上をむすんで下に押し付けて蓋をする。
30代	生ごみの資源化で宇部を活性化！	各家庭から出る生ごみをときわ公園へ集め堆肥を作り、園内の植物のため利用する。 1 ときわ公園内にコンポストを設置し、各家庭から生ごみを持ち寄ってもらい堆肥を作る。 2 生ごみを持ってきた家庭へ、園内で利用できるチケットなどを配布する。
30代	育児支援でごみ削減！	乳幼児のオムツを紙オムツから布オムツへ 1 布オムツの啓発や勉強会・実演会の実施する。 2 障害者就労施設などへ宇部市認定布オムツを製作してもらい、購入特典としてときわ公園の施設利用チケットを配布する。
30代	事業ごみは各自焼却でごみ減量！	焼却炉を導入する事業者を支援し、事業ごみを削減する。 1 構造基準適合・ダイオキシン類対策特別措置法対応で宇部市が認定した焼却炉を導入する事業者に補助金を支給する。 2 事業者には、ごみ削減や正しい処分の勉強会、地域の美化活動などへの参加を義務付ける。
70代	何と！生ごみが激減！ ごみの排出量840作戦	生ごみ回収を月・金とする。月・金の回収袋を有料化して水曜日の排出に各家庭が集中的に努力してくれる。有料化した財源をごみ減量推進の経費に充てる。
10代未満	給食、食べのこしゼロ！	みんなが好ききらいをなくして給食を食べたら食べのこしがなくなる。食べられなかったら、食べられるクラスにわせる。
10代	食べ物や入れ物はなるべく長く使う。	ようきなどは、少しあたって、ごはんの入れ物などにして使う。小さい物より、大きい物を使う。理由は、たとえば小さい物は3日間で食べ終わるとしたら大きい物は6日間で食べ終わるから。
10代未満	ごみダイエット	①生ごみのひりょうか ②住民どうしリユースを行う ③使いすてのものよりも充電式の電池などを使う ④買うよりもマイバッグを使う
70代	草木ごみの天日乾燥・排出を義務化	①草木ごみの水分を減量し、助燃料を削減する。 ②草木ごみの天日乾燥を義務化し、未乾燥物は収集しない。 ③多量の草木ごみは個別収集し、市有地に運搬、腐葉土化する。

ごみ減量アイデアコンテスト 応募アイデア

年齢	アイデアのタイトル	アイデアの内容
70代	野菜ごみ濡らさず日干しに！	生ごみを流し台に捨てないで、ザルを用意して、水に当たらないようにして陽あたり良い場所で乾かす。臭いもなくカラカラになるので手も汚さないで済む。
10代	みんなで、楽しく、食品ロス0を目指そう！#食材無駄なく使ってみた#捨てないよ#もったいない	・「食材管理表」の活用 ・「食材管理アプリ」の活用・「食材ロスメニュー」の活用・「生ごみを乾燥させて捨てる」の提案
20代	ごみ量計によるごみ排出量の見える化～スマートシステムの構築～	家庭にごみ量計を設置し、各家庭のごみの量を計量し把握する。ごみの量を見える化し、ごみ削減に対する意識を向上させ、ごみの削減につなげる。
10代	生ごみから電気エネルギーを～バイオマス発電実現化へ向けてのご提案～	宇部市で事業化を進めている生ごみバイオマス発電について、市民が参加しやすくなるような「生ごみとそうでないものの分別表」の製作と「新たな生ごみ専用のごみ袋の開発」を提案したい。
10代	楽しく学ぼう！ごみの分別～ペットボトルで	ペットボトルを使ってペンケース、アクセサリ、小物などのリサイクル品を製作する。それを題材にして幼稚園、小学校で環境学習を行う。またフリーマーケットで販売し、収益を市に寄付し、ごみ減量のため使ってもらおう。
10代	明日のお弁当にするけえ、置いちゃって～	残った麺類やパスタをリメイクしてできるレシピ、その料理の過程で出る湯の再利用し、除草をする。ペットボトルを再利用して水耕栽培を行うなどの各家庭で簡単に出来る”ごみ削減”方法を提案した資料を作成し配布する。
10代	健康管理アプリによる食品関係のごみ減量計画	個人の必要栄養分や、必要カロリーの量の管理をし、一食分の食事に必要な材料、レシピが一目で分かるアプリを作成する。